

# 土地利用の方針

## 土地利用の基本方針

### ■優れた自然環境の保全と適切な活用

- 絶景を誇る東尋坊に代表される海岸線、緑豊かな山々を源流とする竹田川などの河川、これらの流域に広がる優良な農地などの優れた自然環境の保全と適切な活用を図ります。

### ■都市的土地区画整理事業と自然的土地利用の明確化

- 営農環境と田園風景の保全を図り、既存市街地への都市機能、都市的土地区画整理事業の集約化を進め、都市的土地区画整理事業と自然的土地利用との調整を図ります。

### ■関係部局との連携による総合的な規制誘導

- 望ましい土地利用の実現に向けて、規制誘導の実効性を高めるため、都市計画部局、農林漁業部局など関係部局が連携して開発等に関する情報の共有化、土地利用の調整に取り組む体制を確立します。

### ■市民と行政がともに育む土地利用

- 秩序ある土地利用の実現には、土地所有者等、関係権利者一人ひとりの適切な土地利用が不可欠であることから、市民のまちづくり意識の醸成、主体的なまちづくり活動への積極的な支援に取り組みます。

### ■街なか居住人口の維持に向けた市街地の居住環境の充実

- 既存都市施設を有効活用し、効率よく暮らしやすい都市づくりを進めるため、今後増加が見込まれる空家や遊休地、低未利用地の活用促進、既存の市街地への居住や都市機能の緩やかな誘導により、高齢社会にも対応できる人にやさしい居住環境の充実を図ります。

### ■歩いていける身近な生活拠点づくり

- すべての人が暮らしやすいまちづくりに向けて、徒歩や自転車、公共交通により都市機能にアクセスすることができ、なるべく車に頼らずに日常生活が送れるように生活拠点の適切な配置、誘導を進めます。

### ■特性を活かした多様な定住受け入れの場の確保

- 若者、子育て世代、シニア世代とライフステージや志向によって異なる居住ニーズに対応し、都市機能が充実している市街地、のどかな田園、潮風を感じられる臨海部など、それぞれの地域の環境特性と調和した多様な居住環境が供給されるように条件整備を進めます。



# 交通ネットワークの方針

## 交通ネットワーク整備の基本方針

### ■市街地や各拠点を結び持続的な発展を支える道路ネットワークの確立

- 個性的な市街地及び都市拠点が連携して相乗効果が生まれるように、都市全体の道路ネットワークを確立します。
- 福井港交流拠点と丸岡ICを結ぶ東西軸の確立に力を注ぎ、輸送・移動の効率化、産業や観光の振興を図ります。

### ■人と環境に優しく、誰もが利用しやすい交通環境の整備

- 公共交通の利用を通じて、高齢者の外出支援による健康増進・生きがいづくり、自動車交通量の抑制と交通事故の防止、中心市街地や観光地の活性化、CO<sub>2</sub>排出量の抑制による地球温暖化防止、児童・生徒の登下校の利便性・安全性の確保が図られるよう、総合的な視野で人と環境にやさしく、利用しやすい公共交通環境を整備します。
- また、徒歩や自転車等のスローな交通を中心としたコミュニティを育むまちづくりを推進し、自動車への依存を低減させることによって、道路交通の円滑化等、良好な都市環境の形成を図ります。

### ■広域ネットワークの形成

- 北陸新幹線の敦賀開業による波及効果を最大限に発揮できるよう、県や近隣市町と連携を図り、最寄りの芦原温泉駅から市内へのアクセス環境の充実を図ります。

## 道路ネットワーク整備の方針

### ■広域的な交流や連携を促進する道路網の配置方針

- 市内の各拠点間の連絡強化や、物流交通の集約化を図り、安全で効率的な交通環境を実現するうえで、必要不可欠な東西方向の骨格軸である福井港丸岡インター連絡道路を最重要路線と位置づけ、今後とも整備促進を図ります。
- 福井市と連絡する（一）福井森田丸岡線についても、南北方向の交通の円滑化、広域幹線ネットワークの形成を図るうえで重要な道路であるため、整備促進を図ります。

### ■都市内の交流や連携を促進する道路網の配置方針

- 広域幹線道路を補完するとともに、市内の各都市拠点を結び、多様な連携による新たな魅力の創出、総合的な都市力の向上を図る都市幹線道路の確立を進めます。

## 車に過度に依存しない 多様な交通体系整備の方針

### ■市民や来訪者の移動を支える公共交通ネットワークの確保

- JR北陸本線は、北陸新幹線の整備にともない第3セクター化されるため、県や沿線市町と連携し、地域に密着した生活基盤交通機関としての利便性の確保を図ります。

### ■安心して快適に歩ける歩行者重視の道づくり

- 鉄道駅や多くの市民が利用する施設が集積する地区は、幅員にゆとりのある歩道の整備、周辺環境と調和した舗装のグレードアップや、車両の通行規制など、地域住民の意向を尊重しながら、安心して楽しく散策できるような市街地づくりを重点的に進めます。

